



比例東海 もとむら伸子さん再選 愛知10区いたくら正文さん及ばず 捲土重来を期して頑張りましょう

22日投票で行われた総選挙では、日本共産党は、小選挙区では沖縄の赤嶺政権候補が当選、比例では、東海ブロックでもとむら伸子さんの再選を果たしたものの、全国で20議席から11議席に後退し、東海でしまづ幸広さんの再選を果たすことができませんでした。

突然の国会解散、希望の党の出現で野党共闘が分断され、一方立憲民主党の台頭など複雑な選挙情勢の下でのたたかいでした。日本共産党といた

くら正文候補へのご支援ありがとうございました。

多くの市民の皆さんから「残念だったね」「憲法が心配」との声も寄せられています。

いたくら正文さんは、投票日の

翌々日、早速江南駅に立ち、選挙の中で訴えてきた、改憲阻止、消費税増税ノ一核兵器の全面禁止や真の働き方改革など引き続き全力で頑張っていきます。また、市民と野党の共闘を前進させながら、どんな状況の下でも前進できる力をつけることができよう頑張ると決意を述べました。



江南駅東で訴えるいたくら正文さん

もとむら伸子衆議院議員からのメッセージ

SNSに投稿されたもとむら伸子さんのメッセージを紹介합니다。

雨が続いた総選挙。皆様に昼夜を分かたず大奮闘していただいたにもかかわらず、比例東海ブロックでしまづ幸広さんの宝の議席を守り切れなかったこと、仲間を増やせなかったことを心からお詫び申し上げます。

この間市民+野党の本気の共闘で政治を変えようと国会内外で力を合わせてきました。しかし選挙直前に市民+野党の共闘を分断する逆流がありました。(中略)

今回は、回り道をしたかもしれません。しかしこの間の努力は、個人の尊厳を何よりも大切に市民+野党の共闘の発展に続いていくと信じています。

みなさまのおかげで私は、議席を確保していただきました。憲法を壊す動きを阻止する歴史的使命を果たすことなど責任の重さを痛感しています。一層のご指導をお願いします。



選挙戦後街頭で訴える左から中野、もとむら、しまづの各氏

介護や国保、学童保育の改善などを要望

毎年恒例の愛知県自治体キャラバンが、10月25日(水)江南市役所を訪問。市民など約20人が参加し、特に介護・総合事業や国保、学童保育の改善などを要望する意見が出されました。市側からは、健康福祉部長はじめ担当課長が揃って出席。参加者からの質問に答えました。



自治体キャラバンの様子 市役所内

党議員団は、双方の会場に同席しました。

被爆者の皆さんも市役所訪問

市内在住の方を含め、4名の被爆者が「被爆者行脚」として市役所を訪れ、平和行政の推進や、被爆者支援、核廃絶署名への協力などを要望しました。市からは福祉部長をはじめ担当者が出席しましたが、参加者からは、市長さんにお会いしたいとの要望も。